

「農福連携」へ成功事例

城陽でシンポ 社会参加考える



「農福連携」をテーマに関係者が登壇したシンポジウム
(城陽市寺田・文化パルク城陽)

者らが登壇した。聴覚障害者が活躍する「さんさん山城」(京田辺市)は「農業は収入面でも厳しい仕事だが、地域貢献の目的があったて乗り越えてきた」と報告した。事業を支援したJA側も「仲間ができた」「ぐつすり眠れるようになった」との利用者アンケートを示してメリットを強調した。

一般的に障害者の就労を指すことが多い農福連携について、子どもや高齢者などを包括的に取り込んでどうか、との意見もあった。

(上田真里奈)

就農を通じて障害者たちの社会参加を促す「農福連携」がテーマ

のシンポジウムが、城陽市寺田の文化パルク城陽で開かれた。担い手不足に陥る農業と福祉をどのようにつなげるか、関係者らは府内の成功事例や課題を共有しながら考えた。

障害者たちが農産物の栽培や加工、販売に関わる農福連携の取り組みを進めようと、J